

(3) 将来に引き継げるまちづくり

≫ ≫ なくてはならない菰野町の自然環境

私たちのやすらぎあるくらしを取り巻く環境は、雄大な鈴鹿山脈が与えてくれる清らかな水や空気、そして豊かな恵みをもたらす田園が特徴であり、これらは、なくてはならない貴重なものばかりです。

≫ ≫ 自然環境と経済活動が調和した土地利用と都市基盤の整備

平成 31 (2019) 年に開設した新名神高速道路菰野インターチェンジは、雇用や経済の面で菰野町にとって大きな効果をもたらすものです。私たちのくらしを潤いある豊かなものにしていくためには、自然と共生しつつ、生活や産業活動などに活力を生み出すための調和の取れた土地利用と都市基盤の整備が必要です。

≫ ≫ 調和の取れた土地利用と都市基盤の整備をするには

地球温暖化などから自然環境を守っていくには、私たち一人ひとりの意識が大切となり、生活環境におけるまちづくりへの関心を持ち、自分のこととしてとらえることが重要です。その上で公共設備の耐震化や水道施設などの維持管理・設備更新などに対する現状を把握し、行政が適切な時期に行うことにより、私たちの生活に支障をきたすことなく、安心したくらしを送れることとなります。

≫ ≫ 魅力あふれる持続可能なまちを目指す

一人ひとりが主役となって菰野町の大切な資産である自然を守り、そこに暮らす人、働く人、訪れる人がいきいきと活動できる、魅力あふれる持続可能なまちをつくっていきましょう。

これらのことを踏まえ、私たちは次のとおり目標を定めます。

基本目標 3

魅力あふれる持続可能なまちをつくらう

≫ ≫ 循環型社会形成とインフラ整備

ごみの減量化、リサイクル、資源の節減などに取り組みます。二酸化炭素排出量の削減など地球規模の観点から環境負荷の低減を図ることはもちろんのこと、森林保全に努め、低炭素、省資源、循環型の社会の形成を進めます。

また、安らぎあるくらしを支えられるよう、里地里山をはじめとする菰野町の豊かな生物多様性や美しい自然・田園環境を守り、水道の水質につながる水源の保全に努めるとともに、耐用年数を迎える施設の更新と、災害に強い水道施設の整備を効率的に行い、安全な水道水の安定供給に努めます。生活排水などについては、公共用水域の水質保全と生活環境の改善の観点から各種污水处理システムによる適正処理に努めます。

≫ ≫ コンパクト+ネットワークのまちづくり

人にやさしい、住み続けられるまちであり続けられるよう、自然との調和の中で、都市機能の集約も含めた適切な土地利用を進めることや、菰野インターチェンジ開設を踏まえた体系的な道路ネットワークの構築を推進する一方、公共交通ネットワークの整備を図り、高齢化社会に対応していきます。